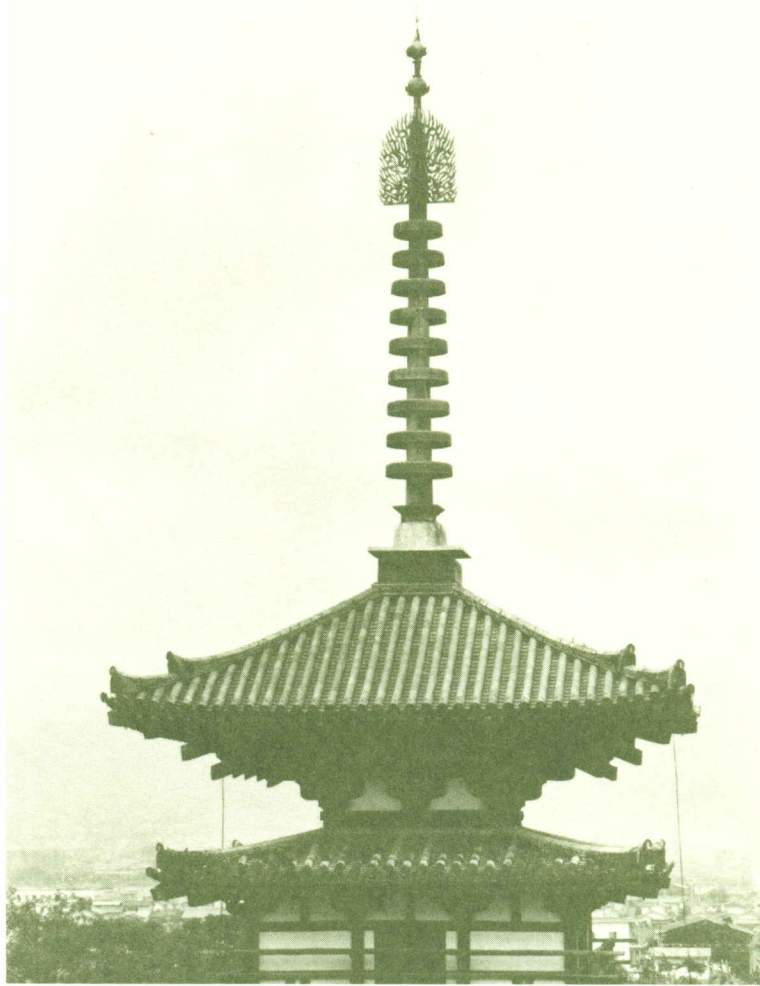


日本賞

THE
JAPAN
PRIZE

1987





白鳳時代の代表的な建築物である奈良・薬師寺の東塔。
日本賞賞牌は、この東塔の先端を飾る水煙（火焰の装飾）
をかたどったもの。

写真撮影：入江泰吉

第16回
「日本賞」
教育番組国際コンクール
報告書

と き 昭和62年10月31日～11月11日
ところ 東京・NHK放送センター

日本放送協会
NHK

目 次

はじめに	3
受賞番組一覧	4
審査委員	5
オブザーバー	6
第16回コンクールのあらまし	7
授賞式	11
審査報告	17
受賞番組	19
佳作と審査委員会特別推賞番組	25
「日本賞」巡回ライブラリー	27
参加状況	28
参加番組一覧	29
おわりに	35

□はじめに



第16回「日本賞」教育番組国際コンクールは、世界各国の放送・制作機関と関係各位のご支援により、大きな成果を収めて盛会のうちに終了いたしました。

今回のコンクールには、世界の54か国、104機関からラジオ、テレビあわせて160本の教育番組が寄せられました。参加機関が100を超えたのは今回が初めてですが、このことは「日本賞」コンクールが国際的な催しとして今後さらに発展していく兆しをうかがわせるものであり、まことに喜ばしいことであります。

ご存知のように、「日本賞」コンクールは、1965年に「各国の教育番組の向上と、国際間の理解と協力の増進に資する」ことを目的として創設されました。以来、各国の放送機関や教育関係機関の絶大な支援を得て着実な発展を続け、今日では世界でも最も大きな国際コンクールの一つに数えられております。

近年、世界の教育放送とこれを取り巻く環境は急速に変容しておりますが、こうした変化に的確に対応し、「日本賞」コンクールを時勢に即応したコンクールにすることが、私どもの基本的な考えであります。

創設以来22年目を迎えた今回、私どもはこの基本的な考えに沿い、このコンクールの規約や運営方法に大幅な改正を施しました。

まず、従来の、「初等教育」、「中等教育」、「成人教育」の3部門に加え、一般番組の中の教育的番組を対象とする「教育的一般番組」部門を新設いたしました。

次に、近年、教育番組が放送機関だけでなく、教育研究所、大学、番組制作会社その他によって制作される場合も多くなっていることを考慮し、これらの機関の参加も認めることにいたしました。

また、部門の新設に伴い、新たにNHK賞のほか、外務省当局の格別のご支援により外務大臣賞を新設することができました。

このほか、期間中に、第1回世界テレビ教育番組展を開催し、参加者が教育放送についての知識と経験を交換し、また、番組の国際交流について話し合うための場を提供いたしましたことも、今回の新しい試みであります。

昭和62年8月、わが国の「臨時教育審議会」は過去3年の審議の結果をまとめ、これを総理大臣に最終答申として提出しました。この答申の注目すべき提案の一つに、今後の教育のあり方を、従来の学校教育中心から生涯学習社会の建設へと切り換え、家庭を学校や地域社会と並ぶ生涯学習の場として重視する、という指摘があります。

教育事情は各国により異なるところはございますが、生涯教育、あるいは生涯学習と呼ばれるものが21世紀への教育の方向であることは、多くの人が認めるところであります。

「日本賞」コンクールが今後、教育放送の視野と可能性をいっそう広げ、生涯学習はもとより、各分野の教育放送の創造の場として発展し、各国の教育の拡充と発展に寄与することができることを、心から願っております。

ここに第16回「日本賞」コンクールの報告書をお届けするにあたり、このコンクールの今後の発展のために、関係の皆さまのいっそうのご支援をお願い申し上げます。次第です。

昭和63年3月

日本放送協会 会長

川原 正人

□受賞番組一覧

(一般は教育的一般番組部門)

	賞名	題名	部門	制作機関
ラ ジ オ	日 本 賞	音楽のたのしさ	初 等	AVRO(オランダ放送連盟構成団体)
	文 部 大 臣 賞	歴史に残る声	一 般	ユーゴスラビア国営放送(ベオグラード局)
	特 別 賞	赤ちゃんの予防注射	初 等	スワジランド国営放送
	〃	緑の恵み	一 般	バングラデシュ国営放送
	佳 作	ことばの旅	初 等	ベルギー・オランダ語放送協会
	〃	音楽の発見	一 般	ガルーダ・プロダクション(アメリカ)
テ レ ビ	日 本 賞	ローレンツ変換の話	成 人	カリフォルニア工科大学/南カリフォルニア・コンソーシアム(アメリカ)
	郵 政 大 臣 賞	にんぎょうげき「くもの糸」	初 等	日本放送協会
	東 京 都 知 事 賞	高齢化へ向かうシンガポール	中 等	シンガポール教育省カリキュラム開発研究所
	外 務 大 臣 賞	日本動物記「カッコウ」	一 般	日本放送協会
	前 田 賞	第二のふるさと	初 等	オーストラリア放送協会
	放送文化基金賞	アラビア文字の M	初 等	カタール教育省テレビ局
	ユ ニ セ フ 賞	メリークリスマス, エマニュエル	中 等	シンガポール教育省カリキュラム開発研究所
	特 別 賞	空気と私たち	初 等	インド教育工学中央研究所
	〃	シンハラ文字の進化	成 人	スリランカ・テレビ放送協会
	〃	水は命の根源	一 般	インドネシア国営テレビ放送
	佳 作	マーヤちゃん自然発見	初 等	フィンランド放送協会
	〃	シュールレアリズム～永久の革命	中 等	ベルギー・オランダ語放送協会
	〃	手話を習う	成 人	上海テレビ局(中華人民共和国)
	〃	歌で学ぶ英文法	一 般	ホンコン政庁放送/ホンコン政庁教育局
	審 査 委 員 会 特 別 推 賞	アフリカ人～異文化のせめぎ合い	成 人	WETA(アメリカ)/イギリス放送協会
〃	大草原の少女みゆきちゃん	一 般	北海道放送(日本)	

今回はラジオの中等, 成人両部門に優秀番組賞に該当する番組がなかったため, 本来はラジオ初等または中等部門の優秀番組に与える文部大臣賞を, 教育的一般番組部門の優秀番組に与え, 同じくラジオ中等または成人部門の優秀番組に与える東京都知事賞を, テレビ中等部門の優秀番組に与えた。

佳作は従来どおり, ラジオ, テレビ各部門の第2位の番組に与えた。また, 審査委員会特別推賞は, 審査委員会から, 入賞作品とは別に, 特に表彰したい旨の申し出があったため, 今回にかぎり特設したものである。

□ 審査委員

《初等教育部会》（5名）

地域	国名	氏名	現職	備考
アジア	スリランカ	I.H. グナラトネ女史	スリランカ・テレビ放送協会 副会長（教育番組担当）	初等教育部会長
東欧	ドイツ民主共和国	ディーター・ウィルケンドルフ	東ドイツ・テレビ国家委員会 科学番組部長	
西欧	ノルウェー	イェンス・ミョーラン	ノルウェー放送協会 教育テレビ局長	
中南米	メキシコ	フアン・M. フェルナンデス・モレノ	ラテンアメリカ 教育コミュニケーション研究所 制作部長	
日本	日本	中野 照海	国際基督教大学 教授 大学院教育学研究科長	

《中等教育部会》（5名）

オセアニア	オーストラリア	ヘンリエッタ・クラーク女史	オーストラリア放送協会 子ども／教育番組局長	中等教育部会長
西欧	イギリス	ジョン・モス	インデペンデント放送協会 教育番組局長	
アフリカ	ケニア	コーネリアス・ニャンボキ	ケニア国営放送 局長	
北米	アメリカ合衆国	ローレンス・クラム	WHRO ハンプトンロード教育テレビ 副会長(教育テレコミュニケーション担当)	
日本	日本	近藤 康弘	日本放送協会教育番組センター チーフ・プロデューサー	

《成人教育部会》（5名）

アジア	中華人民共和国	徐雄雄	中国中央テレビ局 国際番組部長	成人教育部会長
東欧	ハンガリー	スザンナ・チェラー女史	ハンガリー国立教育工学センター 視聴覚ライブラリー部長	
西欧	モナコ	ウィルフリート・グローテ	モンテカルロ国際テレビ祭組織委員会 副総裁	
北米	アメリカ合衆国	ジャック・ライル	ボストン大学 教授 放送・映画学科長	
日本	日本	岡村 黎明	朝日放送 東京支社 国際部長 解説委員	

《教育的一般番組部会》（3部会全員による。部会長はウィルフリート・グローテ氏。）

事務局長 小野 善邦 日本放送協会 放送総局編成計画室 主幹

□オブザーバー

地域	国名	氏名	現職	
アジア	タイ	ティプ・スキワット	スコタイ・タマティラート公開大学 教育工学専門員	
		ナパ・ボンピバット	タイ教育省教育工学センター 所長	
	大韓民国	金英洙	梨花女子大学校師範大学 視聴覚教育学科助教授	
		申英淑	韓国教育開発院教育放送センター 研究員	
	中華人民共和国	李 欣	中国中央テレビ局社会教育部プロデューサー	
		應 紅	同 プロデューサー	
		辛均平	同 プロデューサー	
		趙德珍	同 シニア・プロデューサー	
		陸崙金	華東師範大学(上海)現代教育工学研究所 助教授	
		田荷珍	北京師範大学(北京)助教授(化学)	
		劉茂森	東北師範大学(長春)助教授(視聴覚)	
	日本	大古利三	早稲田大学教育学部 講師	
		鴨川美智子	異文化間教育研究所 教育コンサルタント	
		佐賀啓男	放送教育開発センター 助教授	
		二神重成	いわき明星大学 教授	
	ホンコン	キティー・IP・キトヒン	ホンコン政庁放送 シニア・プログラム・オフィサー	
		麥錫漢	ホンコン政庁教育局教育テレビ首席視学官	
	西欧	ドイツ連邦共和国	ワルター・フレマー	バイエルン放送協会 テレビ教養・家庭番組副局長
			ウルズラ・フォン・ツァリング	バイエルン放送協会 青少年賞財団事務局長補佐
ベーター・フォン・リューデン			北ドイツ放送協会教育番組局長	
ホルスト・ベニット			北ドイツ放送協会共同制作/販売局長	
ハンス・モール			第2ドイツ・テレビジョン協会 医療・保健番組局長	
ノルウェー	イヨルン・ミョーラン	イエンス・ミョーラン氏(審査委員)夫人(教育者)		
アフリカ	エジプト・アラブ共和国	アイダ・シュクリ	エジプト・アラブ共和国国営放送ラジオ教育番組局長	
		アブデル・バディエ・カムハウイ	同 スクリプト・ライター	
	ケニア	クリストファー・オピヨ	ケニア国営放送 広報部	
セネガル	シャルル・ヌディオヌ	セネガル国営放送ラジオ制作部長		
北米	カナダ	マリーズ・ペルティエ	カナダ放送協会(モントリオール局)スクリプト・ライター	
		川島淳一	アルバータ教育放送協会 教育工学・総務局長	
	アメリカ合衆国	バリー・ストナー	KCTS-9(シアトル)エグゼクティブ・プロデューサー	
		キャシー・クラム	ローレンス・クラム氏(審査委員)夫人	
中南米	メキシコ	ホルヘ・ソータ・ガルシア	ラテンアメリカ教育コミュニケーション研究所 所長	
	パラグアイ	シルベリオ・ガビラン・バロビュール	パラグアイ教育省テレビ教育番組プロデューサー	

□第16回コンクールのあらまし

〔コンクール日程〕

- 10月31日(土) 組織会議・開会総会
11月1日(日) 番組審査
2日(月) 番組審査
3日(火) 番組審査
4日(水) 番組審査
5日(木) 番組審査
6日(金) 番組審査
7日(土) 番組審査
8日(日) 番組審査・最終総会
10日(火) NHK 学校放送利用校訪問・
「日本賞」シンポジウム
11日(水) 授賞式



開会総会

組織会議・開会総会



組織会議

第16回「日本賞」コンクールは、10月31日午後の組織会議で幕を開けた。まず、主催機関を代表し、川原NHK会長が、世界の13か国から招請された15人の審査委員に歓迎のあいさつを述べたあと、審査委員会が正式に発足し、委員長には米国ボストン大学教授 放送・映画学科長のジャック・ライル博士が選ばれた。

続いて開会総会に移り、コンクール日程、審査要領その他を確定したあと、審査要員が5人ずつに分かれて初等教育、中等教育、成人教育の各審査部会を構成し、それぞれの正副部会長を次のとおり選出した。

初等教育部会 部会長 中野照海

国際基督教大学教授

大学院教育学研究科長

副部会長 イェンス・ミョーラン

ノルウェー放送協会

教育テレビ局長

中等教育部会 部会長 ヘンリエッタ・クラーク女史

オーストラリア放送協会

子ども/教育番組局長

副部会長 コーネリアス・ニャンボキ

ケニア国営放送 局長

成人教育部会 部会長 スザンナ・チェラー女史
 ハンガリー国立教育工学センター
 視聴覚ライブラリー部長
 副部会長 岡村黎明
 朝日放送 東京支社
 国際部長 解説委員

また、新設の教育的一般番組部門の番組審査は、3部会全委員によって行うこととし、部会長、副部会長に次の2氏を選出した。

部会長 ウィルフリート・グローテ
 モンテカルロ国際テレビ祭
 組織委員会 副総裁
 副部会長 ジョン・モス
 英インデペンデント放送協会
 教育番組局長

番組審査

参加番組の審査は11月1日午前から始まり、54か国104機関から寄せられた160本の番組(ラジオ39, テレビ121)のスクリーニングが行われた。

最終総会

最終総会は11月8日に開かれた。総会は各部会が選んだ受賞候補番組を視聴したあと、討議と投票を行い、ラジオ6本、テレビ14本の受賞番組のほか、2本の審査委員会特別推賞番組を選んだ。



番組審査室(中等部会)



番組審査室(成人部会)



オブザーバーの皆さん



番組審査室(初等部会)



最終総会

「日本賞」シンポジウム

「日本賞」コンクールでは毎回、世界の教育放送について話し合うための会合が開かれている。今回は、シンポジウム「教育放送制作者会議」として企画され、会場を初めてNHKの外へ移し、東京・目黒のこまばエミナースで、11月10日午後、2時間余りにわたって行われた。会議は「国際協力への提言」を共通テーマとし、「放送文化基金」の川平朝清事務局長をモデレーターとして進められた。パネリストとなった7か国の教育番組制作者の代表は、教育放送を取り巻く政治、経済上の問題や、ニュー・テクノロジー時代における教育放送のあり方、マルチメディア教育の現状と将来、さらには、発展途上国の教育放送の課題などについて報告し、意見を交換した。今回は番組制作者のほかに、内外の教育関係者や大学生などを含む約150人が参加し、フロアからの積極的な発言が会議を盛り上げた。



世界教育放送制作者会議

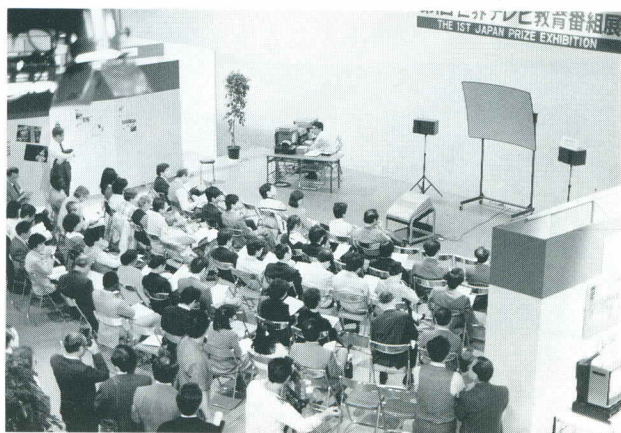


世界テレビ教育番組展

今回の新しい試みとして、期間中の11月2日から5日までNHK放送センターCT112テレビスタジオで、第1回世界テレビ教育番組展が開催された。これは参加者が教育放送についての知識と経験を具体的な形で交換し、また番組の国際交流について話し合うための場として企画されたものであるが、同時に教育番組ソフトの国際見本市の先駆的イベントとして、内外の大きな関心を呼んだ。番組展には56か国から130番組が出品され、参加者は1,000人を超えた。

その他の催し

今回の「日本賞」にも、NHK放送センター見学、ハイビジョン試写会、NHK学校放送利用校訪問・授業参観、東京都内と伊豆箱根国立公園の観光、東京都知事主催、NHK・放送文化基金共催の各レセプションなど、恒例の行事が織り込まれた。このうち箱根観光では、往路、日産座間工場見学が組み入れられ、参加者に日本のハイテクノロジーの一端が紹介された。また、今回の授業参観では世田谷区立若林小学校を訪問したが、参加者はテレビで学習する子どもたちの生き生きした表情に深い感銘を受け、教育放送の教育的役割を再確認していた。



第1回世界テレビ教育番組展



若林小学校で



若林小学校で



NHK 放送センターの見学



皇居にて(東京都内観光)



明治神宮にて(東京都内観光)



コーヒーブレイクでの交歓風景

皇太子殿下お言葉



第16回「日本賞」教育番組国際コンクールが、世界の54か国からの参加を得て開催され、本日ここに授賞式が執り行われることは、誠に喜ばしいこととあります。

教育放送は教育上重要な役割を担っており、物事を理解しやすくする点で教育効果の高いテレビ番組の質の向上は、多くの国々で極めて著しいと聞いております。このコンクールが、教育番組の質の向上のためにこれまで果たしてきた役割に思いを致し、関係者の御労苦に対し深く敬意を表します。

今回から、従来の初等、中等、成人教育の三部門に加え、教育的一般番組部門が新設されたことは、教育放送の充実に更に寄与するものと期待しております。

このコンクールが、世界の教育放送に携わる人たちの研さんと交流の場として今後ますます発展し、それぞれの国の教育に大きく寄与することを願い、授賞式に寄せる言葉といたします。

■ 授賞式

第16回「日本賞」教育番組国際コンクールの授賞式は11月11日午後2時から、東京・新宿の京王プラザホテル錦の間で行われた。式には皇太子殿下、同妃殿下をはじめ、竹下内閣総理大臣(代理・本多秀司内閣官房審議官)、中山郵政大臣、中島文部大臣、宇野外務大臣(代理・浜

田外務政務次官)、国会議員、鈴木東京都知事、そして関係各国大公使、内外の放送・報道機関の代表、放送教育関係者など、およそ260人が出席した。

式は主催機関を代表する川原 NHK 会長のあいさつで始まり、皇太子殿下のお言葉のあと、内閣総理大臣、



本多内閣官房審議官



中山郵政大臣



中島文部大臣



浜田外務政務次官

郵政、文部、外務の各大臣、東京都知事、オブザーバー代表（タイ教育省教育工学センター所長ナバ・ボンピバット女史）の祝辞があり、次いで審査委員長（米ボストン大学教授ジャック・ライル博士）による審査報告のあと各賞の授与が行われた。今回は授賞式の前後に東京放送児童合唱団55人が世界の名曲を演奏し、国際色豊かな

授賞式の雰囲気をついさう盛り上げた。

授賞式のあと、各賞の受賞者と審査委員全員は、別室で皇太子殿下、同妃殿下のご接見を受け、親しくお言葉をいただいた。

各賞の授与は次のとおり行われた。

文部大臣賞（ラジオ）「歴史に残る声」

（授与者） 文部大臣 中島源太郎
（受賞者） ユーゴスラビア大使館 一等書記官
リファト・ロンディッチ

東京都知事賞（テレビ）「高齢化へ向うシンガポール」

（授与者） 東京都知事 鈴木俊一
（受賞者） シンガポール大使館 報道官
チン・クオク・フー

外務大臣賞（テレビ）日本動物記「カッコウ」

（授与者） 外務政務次官 浜田卓二郎
（受賞者） 日本放送協会 教養番組センター
チーフ・プロデューサー
二村坦孝

郵政大臣賞（テレビ）にんぎょうげき「くもの糸」

（授与者） 郵政大臣 中山正暉
（受賞者） 日本放送協会 教育番組センター
チーフ・ディレクター
鈴木孝昌



文部大臣賞(ラジオ)を受ける
リファト・ロンディッチ氏



外務大臣賞(テレビ)を受ける
二村坦孝氏



鈴木東京都知事



ナパ・ボンビバット女史



東京都知事賞(テレビ)を受けるチン・クォク・フー氏

日本賞 (ラジオ)「音楽のたのしさ」

(授与者) 日本放送協会 会長 川原正人

(受賞者) 駐日オランダ大使

ポスチュマス・メイエス

日本賞 (テレビ)「ローレンツ変換の話」

(授与者) 日本放送協会 会長 川原正人

(受賞者) アメリカ大使館 テレビ担当官

ポール・スタージンスキー

前田賞 (テレビ)「第二のふるさと」

(授与者) 前田博子女史

(日本放送協会元会長 故前田義徳氏夫人)

(受賞者) オーストラリア放送協会

子ども/教育番組局長

ヘンリエッタ・クラーク女史

(審査委員)



郵政大臣賞(テレビ)を受ける鈴木孝昌氏



日本賞(ラジオ)を受けるポスチュマス・メイエス氏



日本賞(テレビ)を受けるポール・スタージンスキー氏



前田賞(テレビ)を受けるヘンリエッタ・クラーク女史



放送文化基金賞(テレビ)を受ける
モハンメッド・アリ・アルアンサリ氏



ユニセフ賞(テレビ)を受ける
チン・クォク・フー氏

放送文化基金賞 (テレビ) 「アラビア文字の M」

(授与者) 放送文化基金 理事長 大来佐武郎

(受賞者) 駐日カタル大使

モハンメッド・アリ・アルアンサリ

ユニセフ賞 (テレビ) 「メリークリスマス、

エマニュエル」

(授与者) 日本ユニセフ協会 専務理事

橋本 正女史

(受賞者) シンガポール大使館 報道官

チン・クォク・フー

特別賞 (ラジオ) 「赤ちゃんの予防注射」

(授与者) 中野照海

(審査委員・初等教育部会長)

(受賞者) ケニア国営放送 局長

コーネリアス・ニャンボキ

(審査委員)

特別賞 (ラジオ) 「緑の恵み」

(授与者) ウィルフレート・グローテ

(審査委員・教育的一般番組部会長)

(受賞者) バングラデシュ大使館 参事官

S. N. ホセイン

特別賞 (テレビ) 「空気と私たち」

(授与者) 中野照海

(審査委員・初等教育部会長)

(受賞者) インド大使館 一等書記官

P. S. ダブラ

特別賞 (テレビ) 「シンハラ文字の進化」

(授与者) スザンナ・チェラー女史

(審査委員・成人教育部会長)

(受賞者) スリランカ・テレビ放送協会

副会長 I. H. グナラトネ女史

(審査委員)

特別賞 (テレビ) 「水は命の根源」

(授与者) ウィルフレート・グローテ

(審査委員・教育的一般番組部会長)

(受賞者) インドネシア大使館 公使

M. F. E. R. ラポド



受賞者と審査委員にお言葉をかけられる皇太子ご夫妻



喜びの受賞者たち



授賞式風景



賞牌



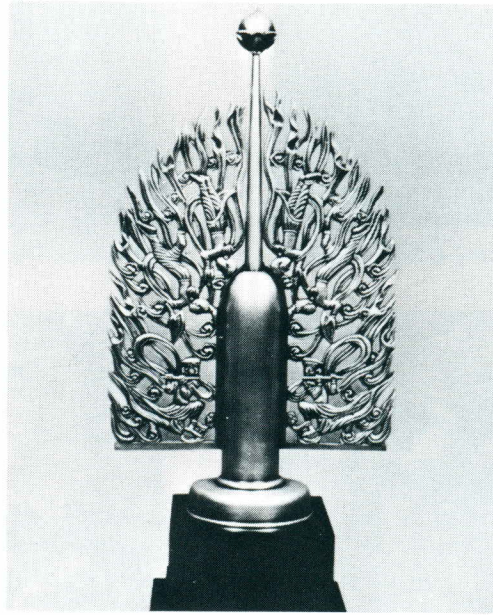
文部大臣賞



郵政大臣賞



東京都知事賞



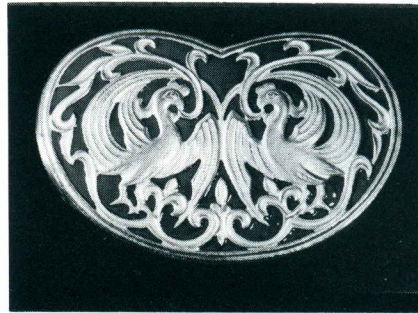
日本賞



阿部賞



NHK賞



特別賞



外務大臣賞



ユニセフ賞



放送文化基金賞



前田賞

□ 審査報告



審査委員長 ボストン大学（アメリカ合衆国）
ジャック・ライル 教授、放送・映画学科長

皇太子殿下、美智子妃殿下、NHK 会長、ご来賓ならびにご出席の皆さま、そしてまた同僚の審査委員の皆さま。

第16回「日本賞」コンクールの審査委員長を務めさせていただきましたことは、私にとり光栄であり、また喜びであります。

私たち15人の審査委員は、北から南から、東から西から、文化や政治・経済事情の異なる12の国々から、この東京へやってまいりました。しかし、このような相違点は、私たちがめいめいが「日本賞」のプロジェクトに精いっぱい取り組むうちに消えていってしまいました。

私たちの共通の任務は、ラジオとテレビの教育的効果を顕著に示す例として国際的に評価され、表彰される番組を選び出すことでした。

今日、ラジオとテレビはどんな社会においても大きな影響力を持っています。そして、この、通信衛星の時代では、その力はどんな遠隔地の地域社会にも及んでいます。

ラジオとテレビの特性には、引力にも似た働きで番組内容をどんどんとエンターテインメントの分野へ引き入れていってしまうようななにかがあります。

エンターテインメントは、あらゆる文化の欠くことのできない一部分であります。しかし、放送メディアをあずかる人たちの忘れてならないことは、これをただ視聴

者を楽しませるだけでなく、それ以上の目的のために活用する機会と責務を与えられているということなのです。

「日本賞」というプロジェクトは、このことを思い出させてくれるものであり、教育がコミュニケーションの基本的機能の一つであるという事実を語りかけるものであります。

さまざまな教育目標の達成のために放送の持つ可能性を最も明確に示した番組を選ぶために、私たちはあのたくさんさんの参加番組を審査しましたが、同時に私たちは番組を視聴する楽しみも味わいました。

「日本賞」のプロジェクトは今、3度目の新たな10年を歩み始めました。第16回コンクールの参加番組は、初期のころの参加番組とは大きな違いがあります。テクノロジーは変わりました。同様に、教育において何を優先させるべきかという選択についても、昔とは変わってきています。1965年の第1回コンクールのころに生徒であった人たちは、今は人の親であり、あるいは祖父母であるかもしれません。そして、テクノロジーが日進月歩に進歩し変容する時代に、国民教育で優先して行われなければならないものは成人教育であり、またその再教育であります。そのために青少年の教育を犠牲にすることはできません。

放送メディアには、あらゆる年齢層の学習者に教育内容を伝え、動機づけをすることのできる独特の機能があります。私たちは、参加番組を視聴し、審議をしながら、このことが真実であることを確信するに至りました。

教育放送に携わる者は皆、「日本賞」プロジェクトの恩恵を受けています。芸術性や技法上の優劣を競う国際コンクールはたくさんあります。しかし、「日本賞」コンクールをとおして、NHKは、各地の放送事業者に、自分たちが、公衆の信託物である電磁スペクトラムを託されている者であることを改めて思い起こさせます。このことはつまり、放送事業者には、公衆の利益のために放送を利用するという責務があるということで、その責務には教育の機会を広げ、高めることも含まれます。

世界有数の放送機関である NHK が、「日本賞」のようなプロジェクトを常に支えてこられたことは、放送教育に携わる者たちを勇気づけてくれます。これは彼らにとっては特に必要なことなのです。それだけではありません。「日本賞」は比較と共有の機会を与えてくれます。これがもたらす大きな影響は、「日本賞」巡回ライブラリーをとおして、絶えず、世界中に伝えられていきます。そしてこのライブラリーを支えているのが放送文化基金財団です。

「日本賞」事務局のすばらしいスタッフのおかげで、私たち審査委員の仕事は驚くほどやさしいものになりました。事務局の皆さんは勤勉でした。そして、事情によく精通し、事態に柔軟に対処するなかで、この勤勉さは効果的に発揮されました。テレコミュニケーションの時代はまた、急速な変化の時代でもあります。事務局は、このような変化に応じて調整をしながら、しかも当初の目標をしっかりと追いつけていくことができることを示してくれました。当初の目標とはすなわち、放送メディアを教育の分野に活用していくことです。

私たちは今、大きな満足感にひたりながら、このプロジェクトを終えようとしています。それは、私たちが、広い範囲に及ぶいずれ劣らぬすぐれた参加番組の中から、受賞番組を選び出すことができたからです。

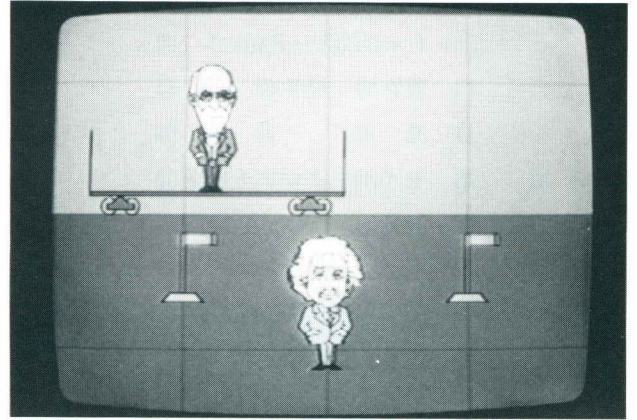
第16回「日本賞」の受賞番組は、教育放送がこれからも生き生きとして続いていくことをはっきりと示しています。この活力は、創造力と教育への献身はもとより、すぐれた技術によってもたらされるものです。

今、ここに、NHK に心から感謝の意を表し、ご出席の皆さまと全世界に向けて、第16回「日本賞」の受賞番組を発表する次第です。



東京放送児童合唱団による演奏（授賞式会場）

□受賞番組



日 本 賞 (ラジオの部の最優秀番組)

題 名 「音楽のたのしさ」
制作機関 AVRO(オランダ放送連盟構成団体)
部 門 初等教育
科 目 音楽
使用語 オランダ語
時 間 19分19秒

(内 容)

映画などの効果音として使われる音楽の役割をさまざまなシチュエーションと楽器の音色との微妙な組み合わせ、……例えばバイオリンとピアノの甘くせつない音は「愛」、速いピッチのギター音は「スリル」、ブラスバンドの高鳴りは「戦争」というように、場面転換に欠かせないものとして楽しく解説した番組。

日 本 賞 (テレビの部の最優秀番組)

題 名 「ローレンツ変換の話」
制作機関 カリフォルニア工科大学/南カリフォルニア・コンソーシアム (アメリカ)
部 門 成人教育
科 目 科学
使用語 英語
時 間 28分15秒

(内 容)

オランダの物理学者、ローレンツの唱えた「ローレンツ変換」という物理学の法則をアニメーションやコンピューター・グラフィックを使ってわかりやすく説明している。難解な科学的命題に挑戦し、映像化に成功した貴重な科学番組。

文部大臣賞 (日本賞に次ぐ、ラジオ教育的一般)
番組部門の最優秀番組

題 名 「歴史に残る声」
制 作 機 関 ユーゴスラビア国営放送
(ベオグラード局)
部 門 教育的一般番組
科 目 歴史
使 用 語 セルボ・クロアチア語
時 間 30分

(内 容)

ユーゴスラビアのベオグラード局が、開局60周年を記念し、これまで放送した歴史の節目節目に登場した政治家や学者の発言、あるいは事件の実況録音でつづった音声による歴史ルポルタージュ。丹念に集め、選び抜かれた録音の迫力と優れた構成力がうかがえる番組。

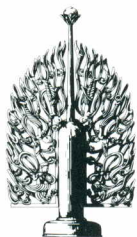
郵政大臣賞 (日本賞に次ぐ、テレビ初等教育部)
門の最優秀番組

題 名 にんぎょうげき「くもの糸」
制 作 機 関 日本放送協会
部 門 初等教育
科 目 文学
使 用 語 英語
時 間 15分



(内 容)

有名な芥川龍之介の名作を人形劇に仕立てたもので、特異な顔の人形と地獄のカラー表現で、とくくなおざりにされがちな善悪の判断について現代っ子たちに考えさせることをねらいとしている番組。



東京都知事賞 (日本賞に次ぐ、テレビ中等教育)
部門の最優秀番組

題 名 「高齢化へ向かうシンガポール」
制 作 機 関 シンガポール教育省
カリキュラム開発研究所
部 門 中等教育
科 目 言語(外国語)
使 用 語 英語
時 間 32分58秒



ウーイ、エンゲ両プロデューサー

(内 容)

これは43年後のシンガポールは65歳以上の老人人口が4人に1人の割合になり、働ける人が3人で1人の老人を養わなければならない問題を取り上げ、中学・高校生に自覚を促す講演とインタビューで構成した社会番組。同時にこの番組には、英語学習、特にスピーチ学習の教材としてのねらいもある。アニメーションによる解説が見事であった。

外務大臣賞 (日本賞に次ぐ、テレビ教育的一般)
番組部門の最優秀番組

題 名 日本動物記「カッコウ」
制 作 機 関 日本放送協会
部 門 教育的一般番組
科 目 科学
使 用 語 英語
時 間 28分30秒



(内 容)

日本の高原に夏の到来を告げる鳥、カッコウの“托卵(たくらん)”という習性を長期取材により克明に描いた科学番組。他の鳥の巣に卵を生み、他の鳥に温めさせ、育てさせる、この特異な習性を CCD 超小型カメラを使い、鳥に全く気付かれずに近接撮影に成功したもの。

前田賞 (国際間の理解と協力の増進に著しく寄与する番組)
〔テレビ〕

題名 「第二のふるさと」
制作機関 オーストラリア放送協会
部門 初等教育
科目 社会
使用言語 英語
時間 16分54秒

(内容)

五歳でオーストラリアへ渡ってきたベトナム難民の少年が、ベトナム人としての自覚と誇りをもちながら、異郷の生活に明るく溶け込んでいく姿を描いたドキュメンタリー。

放送文化基金賞 (就学前児童の教育に特に役立つ番組)
〔テレビ〕

題名 「アラビア文字のM」
制作機関 カタール教育省テレビ局
部門 初等教育部門
科目 言語(国語)
使用言語 アラビア語
時間 25分

(内容)

アラビア語で重要な文字である M の書き方と発音について、にんじんやリンゴなどのキャラクターを登場させ、イラスト入りで楽しく教えている幼児番組。



ユニセフ賞 (発展途上国の子どもたちの生活や境遇)
〔テレビ〕 (を扱った優れた番組)

題 名 「メリークリスマス、エマニュエル」
制作機関 シンガポール教育省
カリキュラム開発研究所
部 門 中等教育
科 目 言語(外国語)
使用言語 英語
時間 12分31秒

(内 容)

英語の聞き取り能力を伸ばすための番組であるが、内容が国際フォスター・プラン(里親運動)にまつわる兄と妹との楽しいドラマとなっている。



特別賞 (恵まれない制作条件の下で制作され、教育効果が顕著な番組)
〔ラジオ〕

題 名 「赤ちゃんの予防注射」
制作機関 スワジランド国営放送
部 門 初等教育
科 目 保健衛生
使用言語 英語
時間 14分

特別賞
〔ラジオ〕

題 名 「緑の恵み」
制作機関 バングラデシュ国営放送
部 門 教育的一般番組
科 目 その他(生態学と環境)
使用言語 ベンガル語
時間 30分



制作スタッフ

特別賞 (恵まれない制作条件の下で制作され、教育効果が顕著な番組)
〔テレビ〕

題名 「空気と私たち」
制作機関 インド教育工学中央研究所
部門 初等教育
科目 科学
使用言語 ヒンディ語
時間 23分



特別賞
〔テレビ〕

題名 「シンハラ文字の進化」
制作機関 スリランカ・テレビ放送協会
部門 成人教育
科目 文学
使用言語 シンハラ語
時間 26分42秒



制作スタッフ

特別賞
〔テレビ〕

題名 「水は命の根源」
制作機関 インドネシア国営テレビ放送
部門 教育的一般番組
科目 その他(水の衛生学)
使用言語 インドネシア語
時間 25分

□佳作と審査委員会特別推賞番組

○ラジオ

佳 作

題 名 「ことばの旅」
制作機関 ベルギー・オランダ語放送協会
部 門 初等教育
科 目 言 語(国語)
使 用 語 フランス語
時 間 16分

佳 作

題 名 「音楽の発見」
制作機関 ガルーダ・プロダクション (アメリカ)
部 門 教育的一般番組
科 目 音 楽
使 用 語 英 語
時 間 28分54秒

○テレビジョン

佳 作

題 名 「マーヤちゃん自然発見」
制作機関 フィンランド放送協会
部 門 初等教育
科 目 その他(生物学)
使 用 語 英 語
時 間 18分09秒

佳 作

題 名 「シュールレアリズム～永久の革命」
制作機関 ベルギー・オランダ語放送協会
部 門 中等教育
科 目 芸 術
使 用 語 英 語
時 間 27分28秒



佳 作

題 名 「手話を習う」
制 作 機 関 上海テレビ局（中華人民共和国）
部 門 成人教育
科 目 言 語(国語)
使 用 語 中国語
時 間 25分



佳 作

題 名 「歌で学ぶ英文法」
制 作 機 関 ホンコン政庁教育局
/ホンコン政庁放送(ETV, ED/
RTHK)
部 門 教育的一般番組
科 目 言 語(外国語)
使 用 語 中国語, 英語
時 間 21分50秒



審査委員会特別推賞（テレビ）

題 名 「アフリカ人～異文化のせめぎ合い」
制 作 機 関 WETA(アメリカ)
/イギリス放送協会(イギリス)
部 門 成人教育
科 目 社 会
使 用 語 英 語
時 間 58分10秒

審査委員会特別推賞（テレビ）

題 名 「大草原の少女みゆきちゃん」
制 作 機 関 北海道放送（日本）
部 門 教育的一般番組
科 目 社 会
使 用 語 英 語
時 間 60分

□「日本賞」巡回ライブラリー

「日本賞」巡回ライブラリーは、「日本賞」コンクールの成果を広く世界の放送・教育機関に伝え、教育放送の向上発展に役立てるために1974年に設立された。

このライブラリーは、「日本賞」コンクールの参加番組の中から内容が特にすぐれ、教育的価値が高いと評価された番組を収めたもので、世界の13か国15か所にある巡回ライブラリーの地域センターに配備され、研修または研究用に利用されている。なお、「日本賞」巡回ライブラリーの運営には、財団法人「放送文化基金」の助成金が給付されている。

巡回ライブラリー「地域センター」所在地

東京、北京、シンガポール、バンコク(タイ)、クアラルンプール(マレーシア)、テヘラン(イラン)、ミュンヘン

(ドイツ連邦共和国)、ナイロビ(ケニア)、ホノルル、オースチン、テラホッド(アメリカ合衆国)、トロント(カナダ)、メキシコ市(メキシコ)、サンパウロ(ブラジル)、ベスプレム(ハンガリー)。(バンコクとテヘランの地域センターは、現在、活動を休止している。)

●巡回ライブラリーの貸し出しのお申し込みやお問い合わせは、次のところで受け付けております。

〒150-01 東京都渋谷区神南2-2-1

NHK 放送センター内

「日本賞」コンクール事務局

電話 03-465-1111

1987年版「日本賞」巡回ライブラリー番組一覧

●ラ ジ オ

番組名	部門	時間	制作機関
音楽のたのしさ	初等(音楽)	19分19秒	AVRO(オランダ放送連盟構成団体)
赤ちゃんの予防注射	初等(保健衛生)	14分00秒	スワジランド国営放送
ことばの旅	初等(言語)〈国語〉	16分00秒	ベルギー・オランダ語放送協会
音楽の発見	一般(音楽)	28分54秒	ガルーダ・プロダクション(アメリカ)
神経衰弱	一般(保健衛生)	42分00秒	イギリス商業ローカル・ラジオ(UKIB/ILR)
歴史に残る声	一般(社会)	30分00秒	ユーゴスラビア国営放送
緑の恵み	一般(生態学と環境)	30分00秒	バングラデシュ国営放送

●テ レ ビ

番組名	部門	時間	制作機関
子供のための英語(7) "おもちゃ博物館で"	初等(言語)〈外国語〉	15分00秒	バイエルン放送協会(ドイツ連邦共和国)
アラビア文字のM	初等(言語)〈国語〉	25分00秒	カタール教育省テレビ局
にんぎょうげき「くもの糸」	初等(文学)	15分00秒	日本放送協会
高齢化へ向かうシンガポール	中等(言語)〈外国語〉	32分58秒	シンガポール教育省カリキュラム開発研究所
ワンダーストラック第25回	中等(科学)	27分50秒	カナダ放送協会
ローレンツ変換の話	成人(科学)	28分53秒	カリフォルニア工科大学/ 南カリフォルニア・コンソーシアム
日本動物記「カッコウ」	一般(科学)	28分30秒	日本放送協会

□ 参加状況

参加国・参加機関数 () 初参加

地 域	参 加 国	参加機関数
ア ジ ア	14	33(7)
オセアニア	2	3(1)
中 東	5(1)	7(1)
西 欧	12(1)	18(1)
東 欧	7	10
ア フ リ カ	7	9(1)
北 米	2	15(9)
中 南 米	5	9(2)
合 計	54(2)	104(22)

参加国数にはホンコンを含む

参加番組数

部 門	ラジオ	テレビジョン	計
初等教育部門	11	32	43
中等教育部門	4	19	23
成人教育部門	4	27	31
教育的一般番組	20	43	63
合 計	39	121	160

参加番組種目別内訳

《ラジオ》

《テレビジョン》

種 目	部 門	《ラジオ》					《テレビジョン》				
		初 等	中 等	成 人	一 般	計	初 等	中 等	成 人	一 般	計
芸 術		0	0	0	0	0	1	1	1	6	9
公 民		1	0	0	3	4	1	0	0	0	1
識 字 教 育		0	0	0	1	1	1	0	0	0	1
地 理		1	0	0	0	1	0	2	0	0	2
保 健 衛 生		1	0	1	2	4	1	0	4	4	9
歴 史		1	0	0	1	2	2	0	5	2	9
言 語 (外 国 語)		0	0	0	0	0	2	6	2	2	12
言 語 (国 語)		1	0	0	0	1	2	0	1	0	3
文 学		2	1	0	0	3	1	0	2	0	3
数 学		0	0	0	0	0	4	1	0	0	5
道 徳		0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
音 楽		1	0	0	3	4	3	1	0	1	5
体 育		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宗 教		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
科 学		0	0	0	2	2	4	1	4	4	13
社 会		1	2	1	1	5	2	3	4	3	12
技 術 指 導		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		2	1	2	6	11	8	4	4	21	37
合 計		11	4	4	20	39	32	19	27	43	121

□ 参加番組一覧

〔注〕国名は五十音順
 (初)……初等部門
 (中)……中等部門
 (成)……成人部門
 (一)……教育的一般部門

※印……初参加
 ㊦……ラジオ
 ㊧……テレビ

アジア 13か国 1地域, 33機関

インド

インド教育工学中央研究所(NCERT)

- ㊦ 空気と私たち (初)科学
- ㊦ リーラ (初)公民

インド国営テレビ放送(DDI)

- ㊦ サウンド・オブ・サイレンス (一)保健衛生
(沈黙の音)
- ㊦ 先天性多胎児の外科医学 (初)保健衛生

インドネシア

インドネシア国営ラジオ放送(RRI)

- ㊦ 竹の村の水物語 (一)科学

インドネシア国営テレビ放送(TVRI)

- ㊦ 水は命の根源 (一)その他(水の衛生学)

シンガポール

シンガポール教育省カリキュラム開発研究所(DET/CDIS)

- ㊦ メリークリスマス, エマニュエル (中)言語(外国語)
- ㊦ 高齢化へ向かうシンガポール (中)言語(外国語)

スリランカ

スリランカ放送協会(SLBC)

- ㊦ 東洋の遺産の中の科学 (中)文学

スリランカ・テレビ放送協会(SLRC)

- ㊦ シンハラ文字の進化 (成)文学
- ㊦ 住宅100万戸への道 (一)社会

タイ

タイ教育工学センター(CET)

- ㊦ 1932年革命 (一)歴史

スコタイ・タマティラート公開大学(STOU)

- ㊦ 標識と掲示 (成)言語(外国語)

大韓民国

韓国放送公社(KBS)

- ㊦ シナウィ-韓国の伝統音楽- (一)音楽

文化放送(MBC)

- ㊦ ぼくたちは若い芽だ! (初)その他(子どものための総合教育)
- ㊦ ポポポ-テレビ幼稚園- (初)その他(幼稚園児教育)
- ㊦ 韓国文化のルーツを求めて (一)その他(文化)
~オンドル-韓国の床暖房設備~

韓国教育開発院(KEDI)

- ㊦ ぼくたちでもできるんだ (中)その他(精神薄弱生徒のためのの特殊教育)

中華人民共和国

中央テレビ局(CCTV)

- ㊦ 写真撮影のABC (一)芸術
- ㊦ ぼくは何でも知ってるよ (初)科学

※北京師範大学

- ㊦ 化学への招待 (成)科学

※上海テレビジョン(STV)

- ㊦ 手話を習う (成)言語(国語)

※東北師範大学

- ㊦ 敦煌の「変文」 (成)文学

※華東師範大学

- ㊦ ハイレベル・コンピューター語の原理 (成)科学

日 本

※北海道放送(HBC)

- ① 大草原の少女みゆきちゃん (一)社会

放送大学学園(JOUD-TV)

- ① 日本：雪国 (成)社会

テレビ静岡(SUT)

- ① コアラの国の子どもたち (一)その他(もう一つの教育)

RKB 毎日放送

- ① 荒野に呼ばれる者 (一)歴史
～C. K. ドージャーの生涯～

日本放送協会(NHK)

- ⑧ お話でてこい (初)文学
「ゼロ弾きのゴーシュ」
① にんぎょうげき「くもの糸」 (初)文学
① 日本動物記「カッコウ」 (一)科学

バングラデシュ

バングラデシュ国営放送(NBA)

- ⑧ 緑の恵み (一)その他(生態学と環境)

パキスタン

パキスタン放送協会(PBC)

- ⑧ 国際野菜会議 (一)道徳

パキスタン・テレビ放送協会(PTV)

- ① 日焼け (一)芸術

フィリピン

フィリピン子どもテレビ財団(PCTVF)

- ⑧ バティボット (初)その他(就学前教育)
① バティボット (初)その他(就学前教育)

※フィリピン教育・文化・体育省視聴覚局

- ① 「視点」ということばについて (中)言語(外国語)
考える
① おませな子ども (初)科学

※ピープルズ・テレビジョン4(PTV-4)

- ① 自活のためのテレビ教室 (一)その他(生計の技術)
壁掛け織りもの

ホンコン

ホンコン政庁教育局/ホンコン政庁放送(ETV, ED/RTHK)

- ① あててみよう (初)言語(外国語)
① 歌で学ぶ英文法 (一)言語(外国語)

ホンコン・テレビ放送会社(TVB)

- ① 中国の宝物 (一)芸術
① ムービング・インデックス (一)その他(若者活動情報)

ホンコン商業ラジオ放送会社

- ⑧ オフィス電化時代 (一)その他(コンピューター講座)

マレーシア

マレーシア教育メディア・サービス(EMS)

- ⑧ マラッカと中国の友好 (初)歴史
① 生きものたちでいっぱい (初)社会
① 目を大切に (一)保健衛生

ラオス

ラオス国営放送

- ⑧ 教師と人民 (一)識字教育

オセアニア 2か国, 3機関

オーストラリア

オーストラリア放送協会(ABC)

- ① 喫煙よさらば (成)保健衛生
① 第二のふるさと (初)社会

※クィーンズランド国立公園・野生生物保護局

- ① ブッシュビート (中)その他(自然保護と野生生物)

ニュージーランド

ラジオ・ニュージーランド(RNZ)

- ⑧ マオリの人々の嘆き (一)公民

中東 5か国, 7機関

イスラエル

イスラエル放送協会(IBA)

- Ⓡ 宿題のお手伝い (中) その他(総合学習)

イスラエル教育テレビジョン(IETV)

- ① 死んだカナリア (初) 歴史
① 青春一つかの間の宴^{うたひ} (一) その他(ドラマ)

※カタール

※カタール教育省テレビ局

- ① アラビア文字の M (初) 言語(国語)
① ソクラテス (中) 社会

キプロス

キプロス放送協会(CyBC)

- Ⓡ キプロスの羊ムフロ^ン (中) 社会

トルコ

トルコ放送協会(TRT)

- Ⓡ 子どもから子どもへ (中) 社会

ヨルダン

ヨルダン国営教育ラジオ・テレビ放送(J. ETV)

- ① 自分のことは自分で (中) 言語(外国語)
① お願いの仕方と断り方 (中) 言語(外国語)

ヨルダン・テレビジョン(JTV)

- ① ことばと文学 (初) 識字教育

西欧 12か国, 18機関

アイルランド

アイルランド放送協会(RTE)

- Ⓡ 月曜夜9時: No. 19 (一) その他(人文・自然科学)

イギリス

イギリス放送協会(BBC)

- Ⓡ 学校の日 (初) 地理
① ワンダーマス (初) 数学
① だれのことばも信じてはいけない (成) 科学

イギリス公開大学/イギリス放送協会(OU/BBC)

- ① こどもの絵画 (成) 芸術

インデペンデント放送協会(IBA)

イギリス商業テレビ(ITV)

- ① ビクトリア時代の価値ある遺産: 公衆衛生施設 (成) 歴史
(グラナダ・テレビ制作)
① 楽しいことが一番 (一) その他(教育)
サマーヒル自由学園
(セントラル・テレビ制作)

イギリス商業ローカルラジオ(ILR)

- Ⓡ 神経衰弱 (一) 保健衛生
(キャピタル・ラジオ制作)

チャンネル4テレビ会社(C4)

- ① 心に描いた絵 (一) その他(身障者への理解)

オランダ

オランダ放送連盟(NOS)

NOS/学校放送協会(NOS-STV)

- ① これからお前を食べに行くぞ (初) その他(週間ニュース)

AVRO・Radio

- Ⓡ 音楽のたのしさ (初) 音楽

テレビ・アカデミー財団(TELEAC)

- ① 中国語の学習: 紹介 (成) 言語(外国語)

※ギリシャ

※ギリシャ国営放送(ERT)

- ① 現実の中の神話: ホーマーのイリアードと古代ギリシャ (一) その他(歴史・文明)

スイス

スイス放送協会(SBC)

スイス・ドイツ語・レト・ロマン語地域放送協会(RDRS)

- ① ライン河を行く~ロツテルダムからバーゼルまで (一) 科学

スウェーデン

スウェーデン教育放送(SR/UR)

- ① ヨーラン~盲目のジャーナリスト (成) その他(身障者への理解)
① アキンの故郷 (初) その他(社会学習・国際理解)

デンマーク

デンマーク放送協会(DR)

- ① あなたは小さな花のよう (成) 社会
 ～グリーンランド
 ジェームスン島の記録～
- ① 自転車の数学 2 (中) 数学

ドイツ連邦共和国

バイエルン放送協会(BR)

- ① 子どものための英語(7): (初) 言語(外国語)
 “おもちゃ博物館で”
- ① 透析を受け続ける子 (一) その他(家族の
 ターニャ 学習)

ブレーメン放送協会(RB)

- ① 運河を下って (中) 言語(外国語)

ザールラント放送協会(SR)

- ① コーンウォール (中) 地理

自由ベルリン放送協会(SFB)

- ① 永続する価値 (成) 保健衛生
 ～チェルノブイリ, その後～

第2ドイツ・テレビジョン協会(ZDF)

- ① 人体—10万倍に拡大して… (成) 保健衛生
- ① 1,000匹の虫たち—地中の生 (初) その他(生態学)
 態学

ノルウェー

ノルウェー放送協会(NRK)

- ① ふたつの時代を生きる人々 (中) 地理
- ① もっと学べる, いっしょなら (一) その他(社会教育)

フィンランド

フィンランド放送協会(YLE)

- ① 脳の話 (一) 公民
- ① マーヤちゃんの自然発見 (初) その他(生態学)
- ① ルピナスの咲く土地で (初) 音楽
- ① 手ぶり身ぶりのコミュニケー (一) その他(サイン・
 ション ランゲージ)

ベルギー

ベルギー・オランダ語放送協会(BRT)

- ① ことばの旅 (初) 言語(国語)
- ① シュールレアリズム～永久の (中) 芸術
 革命～
- ① クリスタとクリストフ (一) 保健衛生

ポルトガル

ポルトガル国営テレビ放送(RTP)

- ① ポルトガル人の諸発見 (成) 歴史
- ① ポルトガル, 昔と今 (成) 歴史

東欧 7 各国, 10機関

ソビエト

テレビ・ラジオ放送国家委員会

- ① 人間の能力に限界はない (成) 保健衛生
 ～吃音^{きつおん}の矯正
- ① 恐竜症候群～恐竜の絶滅～ (一) その他(自然科学)

チェコスロバキア

チェコスロバキア国営ラジオ放送

- ① 獣医の仕事 (初) 公民
 (ブラチスラバ局制作)
- ① 音楽による自己表現 (一) その他(心理学)
 (ブラハ局制作)

チェコスロバキア国営テレビ放送

- ① ムカデのボズカ (初) 数学
- ① 樹木のような住居: (成) その他(建築・生態
 未来の都市 学)

ドイツ民主共和国

ラジオ国家委員会(GDR RADIO)

- ① アトランチスのなぞ～伝説は (一) 科学
 真実か?

テレビ国家委員会(GDR TELEVISION)

- ① 論理的思考で～技術・音楽・ (一) 科学
 アドベンチャー
- ① 特殊学級児の親として (成) 保健衛生

ハンガリー

ハンガリー国営テレビ放送(MTV)

- ① イソップ物語 (初) その他(文学・道
 徳)
- ① '87.3.30の「チャンネル3」 (中) 音楽

ハンガリー国立教育工学センター(OOK)

- ① 人形と人形劇 (一) 芸術

ポーランド

ポーランド国営放送

- ⑧ 虹から来た少女デターナ (初) 文学
(遠い国々のおとぎ話)
- ⑨ ペパーミント王国 (初) 数学
- ⑩ 手の巧み (一) その他(技術)

ユーゴスラビア

ユーゴスラビア国営放送(JRT)

- ⑧ 歴史に残る声 (一) 社会
(ベオグラード局制作)
- ⑨ ちいさな四角 (初) 言語(国語)
(ベオグラード制作局)

ルーマニア

ルーマニア国営放送(RTVR)

- ⑧ 話す能力 (一) 保健衛生
- ⑨ 音の旅 (一) その他(教師向け)

アフリカ 7か国, 9機関

エジプト

エジプト・アラブ共和国国営放送

- ⑧ 小学校教員資格講座 (成) その他(教員資格講座)

エジプト国営テレビジョン

- ⑧ 正直が一番美しい花 (初) 音楽
- ⑨ ボギーとタムタム (初) 音楽

ケニア

ケニア教育研究所教育メディア・サービス

- ⑧ 彼らにも光を (成) その他(特殊教育)
- ⑨ 低体重乳児に栄養を (一) 保健衛生

ケニア国営放送(VOK)

- ⑧ 子どもたち (成) 社会
- ⑨ 動物一家のお母さん (一) 社会

スワジランド

スワジランド国営放送(SBIS)

- ⑧ 赤ちゃんの子防注射 (初) 保健衛生

セネガル

セネガル国営放送(ORTS)

- ⑧ みんなの勉強室 (一) 公民

ナイジェリア

※ナイジェリア・テレビジョン協会(NTA)

- ⑧ 土壌と肥料 (一) その他(農業)

ベニン

ベニン国営放送(ORTB)

- ⑧ ORT療法(経口再水和作用療法)～下痢止め～ (一) 保健衛生

ボツワナ

ボツワナ国営ラジオ放送(RB)

- ⑧ 社会科「国連」 (初) 社会

北米 2か国, 15機関

アメリカ合衆国

CTW

- ⑧ スクエア・ワン・TV (初) 数学
- ⑨ 3-2-1・コンタクト (初) 科学

ダラス郡コミュニティカレッジ

- ⑧ 恐るべき戦い (成) 歴史

※大ワシントン教育テレコム協会(WETA)/イギリス放送協会(BBC)(共同制作)

- ⑧ アフリカ人 (成) 社会
～異文化のせめぎ合い

※カリフォルニア工科大学/南カリフォルニア・コンソーシアム

- ⑧ ローレンツ変換の話 (成) 科学

※ガルーダ・プロダクション

- ⑧ 音楽の発見 (一) 音楽

※ジェネレーション・フィルム

- ⑧ 愚者の踊り (一) その他(ドラマ)

※KQED-FM

- ⑧ 日本—その市場 (一) その他(通商と文化)

※KCTS アソシエーション

- ⑧ ビック A (初) 芸術

※ケンタッキー教育テレビジョン(KET)

- ⑧ 読解力をつけよう (成) その他(成人教育)

ミシシッピー教育テレビジョン(WMAA-TV)

- ⑧ カードの中に (初) その他(図書検索利用の能力)

オレゴン公共テレビジョン(OPB)

- ① フォートロック： (初)歴史
オレゴンの最初の人々

※シルバーバック=ラザルス・グループ

- ① ガラパゴスの海 (一)科学

※南カリフォルニア・コンソーシアム

- ① 初めに (成)その他(マスメディアの歴史)

カナダ

アルバータ教育放送協会(ACCESS NETWORK)

- ① ボランティア (一)その他(社会問題)
～金銭上の利益のためでなく～

カナダ放送協会(CBC)

- ① ワンダーストラック 第25回 (中)科学
① 平和について考えよう (中)その他(時事問題)

中南米 5 各国, 9 機関

コスタリカ

コスタリカ公開大学(UNED)

- ① 変革する社会における四つの (成)社会
家族機能
① 世界の発見：子どもの発達 (一)その他(幼児の発達)

パナマ

パナマ国立教育テレビ(CANAL 11)

- ① 私の町～ポルトベリョ～ (中)社会

バグライ

バグライ教育省

- ① バグライ人の横顔 (一)その他(学際的活動)
① 緯度 (中)社会

ブラジル

ブラジル教育テレビセンター(FUNTEVE)

ブラジル教育テレビセンター(FUNTEVE)

- ① すべてにまざる愛 (一)言語(外国語)

ブラジル教育テレビセンター/ラジオ・MEC

- ① 牛の声と小さなギター (一)音楽

ランデル・デ・モウラ教育財団(FEPLAM)

- ① 地方の女性： (一)その他(地方教育)
新しい方策を求めて

メキシコ

※テレビサ文化財団(FUCUTEL)

- ① 人間の手 (一)芸術

テレビサ・S. A.

- ① 栄光への道(エミリアーノ・サ (一)歴史
パタの最後)

メキシコ教育教養テレビジョン(UTECE)

- ① 我らの青春 (一)音楽
① 木で椅子を作ろう (中)その他(技術教育)

※メキシコ・テレビ協会-イメビジョン(IMEVISION)

- ① 偉大なる人の伝記 (成)歴史
～ラサロ・カルデナス
① ディエゴ・リベラ (一)芸術
～機械の神様と呼ばれた壁画家

□おわりに

「日本賞」コンクール 事務局長
小野善邦

第16回「日本賞」コンクールの報告書が出来上がり、皆さまのお手もとにお届けする運びになりました。今回は、規約、運営方法が大幅に改正され、過去22年のこのコンクールの歴史の上でも特筆されるイベントでしたが、成功のうちに無事終了しましたことは、ひとえに、参加各放送機関をはじめ、関係各位のご協力のたまものであり、改めて、心から感謝を申し上げたいと存じます。

「日本賞」コンクールの特色はいくつかありますが、その最大のものは、アジアで開かれる教育番組に限定したコンクールであるという点です。

今回のコンクールには54か国から104機関が参加しましたが、このうち、アジアからは14か国、33機関の参加がありました。ヨーロッパ、アフリカ、アメリカ、オセアニア、中東などから、文字どおり世界的規模で参加があったうえに、このようにアジアからこれだけ数多くの機関が参加することは、他のコンクールでは例を見ません。

したがって、主催者といたしましては、この点を考慮し、コンクールでは、優れた教育番組を選出していただくことと合わせて、参加者間の「教育番組をめぐる対話」、特にアジア諸国からの参加者とその他の地域から参加した人々との対話や話し合いを積極的に進めていただくことを大きなねらいにしています。

私は、教育については、思想、信条、社会体制の相違を越えて、人びとが共通の認識を持つことは可能であると考えます。今回のコンクールの期間中も、審査委員会の席上ばかりでなく、コーヒー・ブレイクやパーティーなどで、中国とアメリカの審査委員が、韓国のオブザーバーと東ヨーロッパの審査委員が、教育放送の効果や番組の評価などをめぐって熱心に話し合う光景をよく見か

けました。

私どもは、今後も、「日本賞」コンクールをアジアと世界の相互理解と対話のための場にしていきたいと考えております。

また、今回の第16回「日本賞」コンクールにも、授賞式に、皇太子殿下ご夫妻のご臨席をいただきました。皇太子殿下ご夫妻は、22年前の第1回から、東京で開かれるときには、毎回、ご臨席をいただいております。今回は、授賞式の数日前、私は事務局員と二人で御所にお招きを受け、約一時間にわたり、「日本賞」の歩みや、教育番組の動向などについて親しくお話を申し上げる機会をいただきました。そのうえ、授賞式の当日は、わざわざ審査委員名簿や受賞作品リストをご覧になったうえで、審査委員や受賞者とのご懇談に臨まれ、予定の時間を越えて出席者ひとりひとりに直接話しかけられ、おほめと、ねぎらいのお言葉を下さるといって格別のご配慮をいただきました。

皇太子殿下ご夫妻は、「世界の相互理解、文化の向上のために放送の果たす役割は大きい」とのお考えをお持ちであります。このような深いご理解に心から感謝を申し上げるとともに、このようなお気持が「日本賞」コンクールを世界的に声価の高いコンクールにした大きな力になっていることを、改めて感じるものです。

「日本賞」コンクールは、創設以来22年たちましたが、この間に、教育放送の持つ意味も大きく変わりました。「日本賞」は、今回、こうした時代の変化にマッチするようかなりの変身を遂げましたが、まだまだ不十分であり、次回に向けて、いくつかの宿題を残したことも、また事実です。

その一つは、テレビの参加番組が増えている反面、ラジオの参加番組の数が、急激に減っていることです。「日本賞」は、ラジオ、テレビを合わせた総合的な教育番組コンクールであることは、今後とも変わりありませんが、ラジオ部門については、どのような形にするのが最も適切か、早急に検討するつもりです。また、今回新設

した「教育的一般番組」部門について、一部の委員から、「新しい教育放送の視点に立った適切な部門の創設ではあるが、成人教育部門との違いなど、^{コンセプト}概念をもっと明確にすべきだ」などの意見が寄せられています。会期中に開くシンポジウムや、新たに設けた教育番組展のあり方なども含めて、事務局で検討を加え、「日本賞」を時代のニーズに合致したさらに充実したものにしてまいりたいと考えております。

また、今回の「日本賞」コンクールを開催するに当たり、各方面からさまざまなご支援をいただきました。中でも、「日本賞」の成果を広く世界に紹介し、利用して頂くための「巡回ライブラリー」に対して助成を頂いた財団法人「放送文化基金」、今回も物心両面の援助を頂いたアメリカ・ケン財団理事長 W・G・バックナー氏に対し、厚くお礼申し上げます。

最後に悲しいお知らせをお伝えしなければなりません。

「日本賞」創設以来、このコンクールのかけがえのない指導者としてその発展に尽力され、近年は「巡回ライブ

ラリー委員会」の代表を務めておられた W・シュラム博士（元ハワイ・東西センター・コミュニケーション研究所長）が、今回のコンクールの終了後間もない、1987年12月27日に逝去されました。

また、「日本賞」コンクールの第1回で審査委員長を務められたあと、第2回、第3回で、それぞれラジオ、テレビの部会長として参加され、「日本賞」コンクールの発展の基礎を築かれた西本三十二^{みつとじ}博士（帝塚山学院大学元学長、国際基督教大学名誉教授）が、1988年1月9日、逝去されました。

シュラム博士はコミュニケーション学者として、西本博士は視聴覚教育と放送教育の権威として、共に世界的に著名な方であり、「日本賞」コンクールの理論的支柱として、このコンクールの歴史に大きな足跡を残されました。ここに謹んで両博士のご冥福をお祈りいたします。



「日本賞」コンクール関連放送番組

総合テレビ

62年11月8日(日) 21:45~21:55

てれび自由席「教育番組お国ぶり」

—「日本賞」教育番組国際コンクール

(リポーター 翻訳家 菊地 浩司)

(お話 「日本賞」事務局長 小野 善邦)

62年11月13日(金) 19:27~19:30

テレマップ「日本賞」入賞作品決まる

(「日本賞」事務局 井上 英治)

*62年11月15日(日) 10:00~11:00

世界の子どもたちへのメッセージ

—「日本賞」教育番組国際コンクールから—

「日本賞」コンクール審査委員長

ボストン大学教授 ジャック・ライル

「日本賞」コンクール審査委員

国際基督教大学教授 中野 照海

司 会 三宅 民夫

(*教育テレビで再放送)

教育テレビ

62年11月16日(月) 20:00~20:45

62年11月17日(火) 15:15~16:00 (再放送)

ETV 8 「世界の教育番組は、いま」

—第16回「日本賞」コンクールから—

(国際基督教大学教授 中野 照海)

*62年12月29日(火) 13:30~14:30

「世界の子どもたちへのメッセージ」

(総合からの再放送)

62年12月30日(水) 13:30~14:30

「日本賞」教育番組国際コンクール入賞作品紹介

—初等・中等教育部門—

NHK 放送文化調査研究所主任研究員 秋山隆志郎

NHK 教育番組センター チーフ・プロデューサー

近藤 康弘

司 会 後藤美代子

63年3月24日(木) 14:15~15:00

「日本賞」教育番組国際コンクール入賞作品から

「くもの糸, カッコウ」

63年3月25日(金) 14:15~15:15

「日本賞」教育番組国際コンクール入賞作品から

「大草原の少女みゆきちゃん」

~北海道放送制作~

このほか NHK 国際放送でも、「日本賞」関連のニュースや番組が放送された。



「日本賞」教育番組国際コンクール事務局

〒150-01 東京都渋谷区神南2-2-1

日本放送協会

電話 大代表(03)465-1111



NHK